

平成21年度予算が市議会に提案され、原案どおり可決、成立しました。今年度の予算は、時代のニーズに対応しながらも将来を展望した事業の展開を図るため、市民生活に密着したきめ細やかな施策を最優先に、地域活力や人の育成に力を注いだ堅実型予算としました。

この予算に基づき、3つの重要課題と6つの推進プラン（4ページ参照）で、「夢がきらめく「元気なまち」づくりを進めます。

重要課題 行政改革の推進

平成18年度策定の「行政改革大綱」に基づく集中改革プランは、2か年経過時の中間検証で約8億円の成果を得ており、計画の最終年度となる平成21年度は、より効果的な行政運営をめざすため、さらなる検証を行い、次期計画への準備を進めます。

さらに、市民サービスの向上・行政の効率化のため、本庁舎の整備を含めた公共施設の統廃合と組織・機構の再編について、具体的な検討に着手します。

また、財政健全化法が平成21年度から全面施行されるため、新たな財政指標を通じてさらなる分析を行うなど、将来にわたって持続可能な財政基盤を確立するための取り組みを強化していきます。

重要課題 安全安心のまちづくり

安全、安心のための環境づくりとして、学校教育施設の耐震対策をはじめ、災害時の避難路、救済路の役割を担う道路ネットワークの構築やユニバーサル社会への対

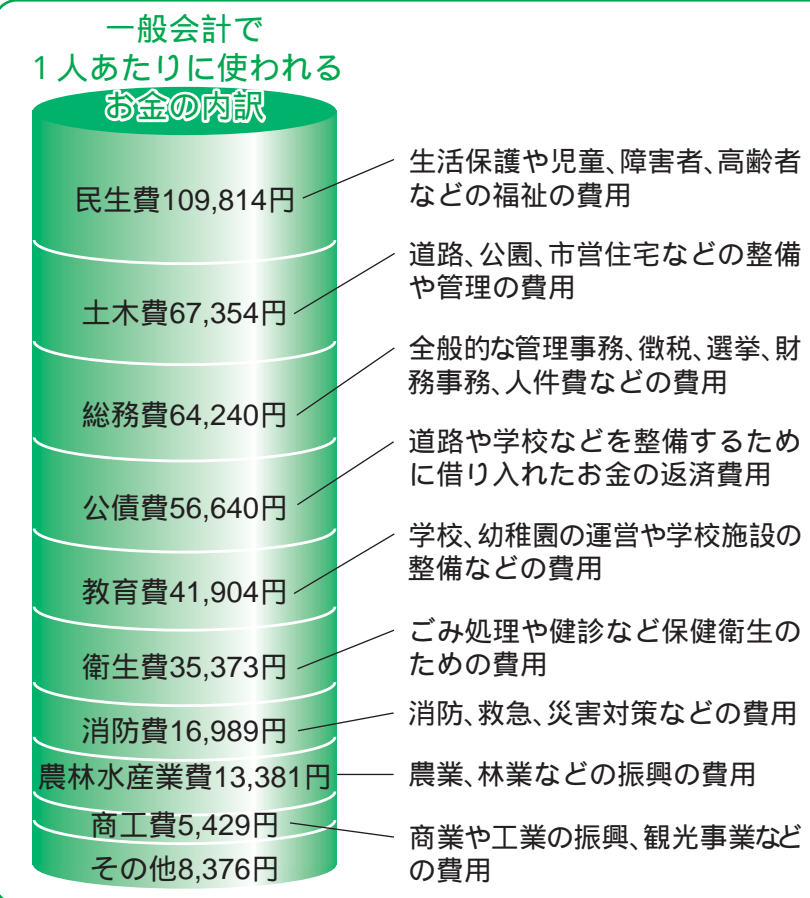
重要課題 産業基盤の充実

加東市の持つ資源、基盤のシンボルとしてケーブルテレビが挙げられます。元気なまちづくりに大きな役割を果たすこの基盤について、地上デジタル放送に対応するため、デジタル対応の家庭用端末への交換を引き続き進めます。

広域交通アクセスの良さという地域特性を生かした工業団地への企業進出は、この1年間に7社が操業を開始し、さらに3社の進出が決定しました。厳しい経済情勢の中ですが、地域の活性化と雇用拡大のために、今後もさらに積極的な企業誘致を進めます。

さらに、観光資源、文化資源をまちのにぎわいと市民のみならずの誇りにつなげるため、県内外への発信をさらに強化し、観光協会や事業者、地域の方々と連携して、イベントや催しを計画しながら、まちの活力の増幅を図ります。

また、農業経営においては、地域の誇りである酒米山田錦をさらにブランド化し、魅力ある商業戦略につなげる取り組みを進めるほか、それらを生み出す社会資本の整備に引き続き取り組みます。



人口約40,000人の加東市

平成21年度予算を市民のみなさま1人あたりに換算すると

予算全体では、806,655円になります。特別会計（特定の財源で特定の事業を行う会計）では、173,193円になります。企業会計（独立採算制で使用料などを財源に事業を行う会計）では、213,961円になります。一般会計（特別会計以外の会計で、さまざまな事業を行う会計）では、419,500円になります。その内訳は、左のグラフのとおりです。

一般会計の内訳を昨年度との比較で見ると、民生費（0.5%増＝子育て支援などに重点）、教育費（29.2%増＝学校施設整備に重点）、労働費（その他に含まれています。18.6%増＝雇用・経済対策に重点）が増額となっており、福祉、教育、経済の各分野に重点配分した予算となっています。

一般会計予算は実質0.7%の増加、予算総額でも実質0.2%の減少で、厳しい経済情勢の中でも、昨年度とほぼ同規模の予算編成とし、経済雇用対策や教育の充実などに積極的に取り組む予算です。



【会計別予算と前年度の比較】

区分	項目	平成21年度予算	平成20年度予算	伸び率
一 般 会 計		167億8,000万円	168億1,000万円	0.2%
特 別 会 計	国民健康保険	36億5,400万円	36億5,300万円	0.0%
	老人保健	481万円	5億2,580万円	99.1%
	後期高齢者医療	3億1,914万円	3億3,190万円	3.8%
	介護保険保険事業	24億9,657万円	23億6,020万円	5.8%
	介護保険サービス事業	4億5,323万円	8億5,730万円	47.1%
計		69億2,775万円	77億2,820万円	10.4%
企 業 会 計	病院事業	28億3,973万円	29億8,917万円	5.0%
	水道事業	20億9,926万円	19億1,231万円	9.8%
	下水道事業	36億1,946万円	41億9,714万円	13.8%
計		85億5,845万円	90億9,862万円	5.9%
合 計		322億6,620万円	336億3,682万円	4.1%

一般会計は、対前年度比では0.2%の減額となっていますが、これは、国の二次補正予算に対応して、平成21年度事業の一部を平成20年度に前倒しして予算化したため、その額を考慮した実質の予算比は0.7%の増額となります。予算総額は、対前年度比では4.1%の減額となっていますが、平成20年度では、約18億円の起債の繰り上げ償還（金利の高い借金を一度返済し、安い金利で借り直すこと）を実施したのに対し、平成21年度では約6億円程度になるため、その差額を考慮した実質の予算比は0.2%の減額となります。

健全な財政運営の成果

